

大学スポーツの新たな価値創造と UNIVASの役割

福原 紀彦 Fukuhara Tadahiko

大学スポーツ協会 (UNIVAS) 代表理事・会長

日本私立学校振興・共済事業団 理事長

中央大学名誉教授・前学長 (学友会会長・硬式野球部長)

弁護士 (東京弁護士会)



人類にとってスポーツとは

スポーツという営みは、人類の進化と持続可能性にとってたいへん有意義な営みである。身体と心と頭を、強く、逞しく、優しくする。

国・地域・言語・文化の多様性を包摂しながら、時と空間とルールとゴールを共有できる。スポーツは、グローバル化に欠かせない営みである。

競技における競い合いはあっても、切磋琢磨とともに心をひとつにすることができる。これほど、絆と感動を与えるものはない。

大学スポーツの意義と価値

大学でスポーツに励むことの意義

人間的な成長と将来の礎を築く青春時代に、学術・文化・芸術等の専門分野を学び究める大学において、スポーツに精励することの意義はたいへん大きなものがある。

大学由来の日本の近代スポーツ

日本の近代スポーツは大学によって導入され、発展してきた。先のオリンピック・パラリンピックの夏季大会と冬季大会では、多くの学生アスリートが活躍し、日本の多くの大学が協力態勢を築いて貢献した。それらによっても、日本における大学起源のスポーツの伝統と歴史を引き継ぐ姿を改めて認識できた。

スポーツにとっての大学、大学にとってのスポーツ

今日、スポーツが多様化する現代において、大学スポーツは、社会から期待される役割がますます大きくなり、スポーツ界全体の発展に貢献するプラットフォームを形成している。そして、大学にとっても、スポーツ活動への取り組みは教育・研究・社会貢献の各機能を発揮する上で大変重要な地位を占めている。

学生アスリートの成長とは

学生アスリートは、競技能力の向上に励むと同時に、様々なことを学び、知識を蓄え、社会で生き抜く力を養い人間力を高めている。

ペーパーテストで判定できるリテラシーだけでなく、「実地応用」の能力、「行動する知性」であるリテラシーを身に付け、養うことができる。

大学スポーツの経験を大いに生かし、将来、国際社会や地域社会に貢献していくことが期待される。

大学スポーツのステークホルダー

運動部の学生はもちろん、各大学の学生やOB・OG、役員・教職員、学生の保護者といった大学のステークホルダーが大学スポーツを楽しみ、応援しながらその社会的価値を共有することは、大学とスポーツとがもたらす人類の持続的発展の貴重な礎ということができる。

大学スポーツの潜在価値

**COMMUNITY
LOYALTY**

学内・保護者・卒業生・地域

**CAREER
DEVELOPMENT**

人材育成

CONTENTS

見るスポーツ

BRANDING

大学ブランド確立

CONTRIBUTION

地域貢献



大学スポーツの組織構造課題

■大学スポーツの組織体制は、構造的な課題を抱えていました。

大学

- ・自由度自主性の高い最高教育機関
- ・個性や独自性を尊重する風土

運動部

- ・学生の自主性に基づく自由な活動
- ・課外活動につき大学の関与が希薄

競技団体

- ・日本スポーツに貢献した歴史と伝統
- ・中央と地区の縦割り型の組織編成

➤他大学、他運動部、他競技団体との横の連携は希薄であった。

- ・大学や競技団体を横断して取り纏めることによって、共通の課題の解決を進め、新しい価値を創造する。

UNIVAS創設の意義と取組み

日本では大学や競技団体がそれぞれ各種スポーツに取り組んでいる状況があり、それぞれの素晴らしい取組みや課題について横断的に取り組む組織がなかった。

そのような中、文部科学省やスポーツ庁での様々な検討を経て、旧来の垣根を越え、素晴らしい各種スポーツの取組みを横断的に結びつけ、さらに、大学、競技団体が一丸となって大学スポーツが抱える課題に取り組む、発展していくことを目指し、「大学スポーツ全体の振興と価値向上を図るために」 2019年3月、一般社団法人大学スポーツ協会(UNIVAS)が創設された。

中央大学は、創立時からのメンバーであり、大学スポーツを牽引！

UNIVASの設立経緯

■ 2016年の文科大臣決定より3年間・3ステップの検討プロジェクトを経て、UNIVASは設立されました。

2016年4月

大学スポーツの振興に関する検討会議

- ・ 潜在力を有している大学スポーツの振興に向けた方策等について検討を行う目的で、馳文部科学大臣決定により文部科学大臣を座長にした検討会議が設置される。委員10名・タスクフォース11名。
- ・ 2017年3月大学のスポーツの価値の向上に向けた最終とりまとめ案を提起。

2017年9月

日本版NCAA創設に向けた学産官連携協議会

- ・ 大学スポーツの発展を戦略的に推進する大学横断的かつ競技横断的統括組織の創設を目指し、統括組織が優先的に取り組む課題や制度設計等を検討する目的で設置。3ワーキンググループに57名参加。
- ・ 2018年度中の統括組織設立を目標化。

2018年7月

日本版NCAA設立準備委員会

- ・ 統括組織が取り組む3テーマを14作業部会にて検討。106大学26団体が参画。

2019年3月

一般社団法人 大学スポーツ協会 設立

UNIVASの設立経緯

■ 大学スポーツの大きな潜在力が確認され、課題を克服し発展するための推進組織の必要性が説かれました。

大学スポーツ に対する 評価・課題

- ・大学におけるスポーツの振興には、国民の健康増進や地域・経済の活性化等に資する可能性を有するなど、公共的役割を担う可能性がある。
- ・大学には、アスリートや指導者等の貴重な人材、体育・スポーツ施設、スポーツ科学の知見等のリソースが豊富に存在する。
- ・しかし、歴史的には日本のスポーツ振興の黎明期を支えてきたものの、その活動は個々のものに留まっていたが故、勝利至上主義・競技力偏重思想・学業軽視傾向・パワハラ問題、自主性尊重という名の放任等、さまざまな課題が内在している。

大学スポーツのパラダイムの転換

- ・個性や独自性に富んだ大学、伝統や歴史のある学連を横断型で取り纏める横断型組織の設立。個々の長所を生かしつつ新しい価値創造を行い、大学スポーツの振興を目指すもの。
- ・米国NCAAを参考にしつつも、スポーツエリートの統括組織ではなく、幅広く大学スポーツの価値創造を目指す「日本流のNCAA」を設立する。

組織体制

名誉会長

鎌田 薫

国立公文書館館長
前早稲田大学総長
初代UNIVAS会長

顧問

川淵 三郎

日本トップリーグ連携機構会長
日本サッカー協会相談役

小宮山 宏

三菱総合研究所理事長
元東京大学総長

松浪 健四郎

日本体育大学理事長
元衆議院議員

理事 (24名)

代表理事 会長

福原 紀彦

前中央大学学長
日本私学事業団理事長

副会長

川原 貴

日本臨床スポーツ医学会理事長
前国立スポーツ科学センター長

有森 裕子

元プロマラソン選手
日本陸上競技連盟副会長

・ 業務執行理事 4名

・ 大学理事長・総長・学長 8名

・ 競技団体代表者 2名

・ 大学教員・有識者 7名

監事 2名

委員会

デュアルキャリア委員会

安全安心委員会

事業企画委員会

データベース開発委員会

総合推進委員会

パートナー企業



MS&AD
INSURANCE GROUP

河合塾グループ
株式会社 KEIアドバンス

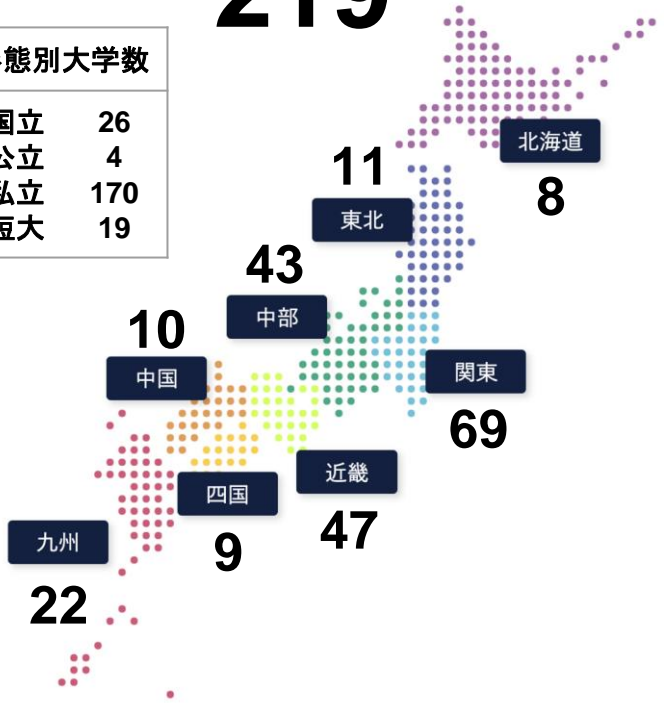
加盟大学・競技団体

加盟大学 219

加盟競技団体 38

形態別大学数

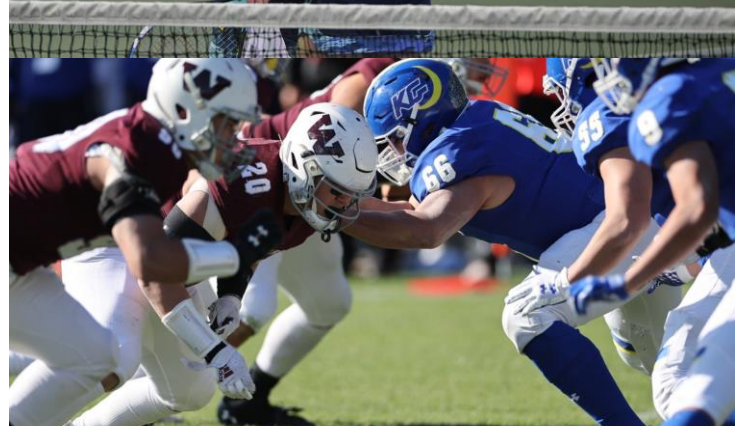
国立	26
公立	4
私立	170
短大	19



 テニス	 ソフトテニス	 ラグビー	 アメリカンフットボール	 馬術	 バスケットボール	 ホッケー	 ハンドボール
 水泳	 スポーツチャンバラ	 ゴルフ	 なぎなた	 バレーボール	 スキー	 ウエイトリフティング	 レスリング
 柔道	 テコンドー	 ボクシング	 少林寺拳法	 ソフトボール	 野球	 フライングディスク	 ライフル射撃
 空手	 ボート	 カヌー	 サーフィン	 アーチェリー	 オリエンテーリング	 グライダー	 トライアスロン

UNIVASの目指すところ

大学スポーツを通して、
かかわる人々の人間力を高め、多様な世界に解き放ち、
よりよい自分、よりよい社会へと導く。



スローガン

よりよい自分へ、高めあう。

社会では、主体的に考え、感じ、行動できる人間力が求められる。UNIVASは、学生たちが大学スポーツからさまざまな学びを得て、その知見を最大限に活かし、必要とされる人間力を育めるようにサポートする。

そして大学スポーツを取り巻く環境を継続的に整備・改善することで、大学スポーツが生み出す価値や感動を広く届け、その社会的意義を高めていく。

大学スポーツを楽しむ学生を支える

運動部学生のために学業面と安全安心な競技環境面での支援を充実させる。さらに広くスポーツに親しむ機会を積極的に提供し、大学スポーツ人口の 継続的な拡大に努める。

大学スポーツを観戦する人を増やす

学生がスポーツを観戦・応援する風土を取り戻し、大学スポーツのある 学生生活の素晴らしさを伝える。さらにOB・OGや地域の方々を中心に大学スポーツのファンを増やす。

大学スポーツへの支援の輪を広げる

大学全体でのスポーツへの取り組みや研究をともに深める。さらに社会からの支援の輪を広げ、大学スポーツの振興につなげる。



大学スポーツ参画人口の拡大・大学スポーツの振興

主役は学生・運動部・大学・競技団体

UNIVASは各々の活動を支援

スポーツによる人材育成



安全安心なスポーツ環境の確立



大学スポーツの認知拡大



組織・体制の整備

情報活用プラットフォーム My UNIVAS・Our UNIVAS

UNIVASの提供サービス：スポーツによる人材育成

■ 内定者、主将や主務、管理者・指導者等大学スポーツに関わる方々にオンライン/オンサイト研修を多種展開。

内定者

学びが未来の自分を
ネクストステージへ



入学前教育プログラム



学生

Dual
career
program

デュアルキャリアプログラム



計画力

運動部活動を
キャリア形成に活かす

なりたい自分になるために、計画を立てることが大切です。計画を立て、先取りの自学・先立準備・学習・活動とすることで、就職・進学後の活躍の場をより広げることができます。UNIVASのスポーツプログラムを通じて、計画力を身につけてください。

キャプテン



リーダーズキャンプ

管理者



管理者セミナー

指導者



指導者セミナー

主務



GMGミーティング

UNIVASの提供サービス：安全安心な環境の整備

■ 全競技共通の安全安心ガイドラインを基にした認証制度を施行、安全で安心できる環境整備を推進しています。

予防



コロナ対策



体温・体調管理システム

感染予防対策

制度



安全安心認証 (UNIVAS SSC) 制度

対処



医療従事者等の派遣



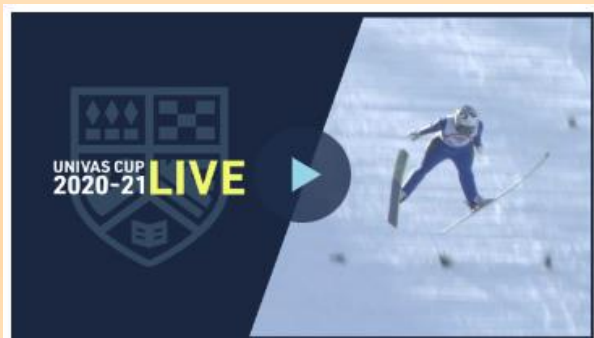
ハラスメント相談窓口

UNIVASの提供サービス：大学スポーツ認知の拡大

■ 競技横断型の大会を中心に試合動画のネット配信を進め、認知拡大とファンの創造を推進しています。

大会主催

競技横断 UNIVAS CUP



動画配信

観戦アプリ UNIVAS Plus



表彰

年間表彰 UNIVAS AWARDS



UNIVASの提供サービス：ガバナンス体制の整備

■ 大学における運動部管理体制の整備・確立に向けて、事例の共有やノウハウの提供を推進しています。

マネジメント

業務手引書



コンプライアンス







研修会・セミナー



オペレーション

ノウハウ提供・事例共有



 仙台大学		
2017年度 信立大学 ● 学生部 ● 学生課 ● 学生課 ● 学生課	2017年度 池袋大学 ● エフ・イノベーション ● 大学経営部	2017年度 日本体育大学 ● エフ・イノベーション ● 大学経営部
 青山学院大学		
2017年度 内閣府 ● スポーツ推進 ● スポーツ推進 ● スポーツ推進 ● スポーツ推進	2017年度 北信濃大学 ● スポーツ推進 ● スポーツ推進 ● スポーツ推進	2017年度 同志社大学 ● スポーツ推進 ● スポーツ推進 ● スポーツ推進 ● スポーツ推進 ● スポーツ推進

UNIVASの提供サービス：情報管理プラットフォームの提供

■ 運動部学生に対するサービス提供と情報管理セキュリティの向上に向けてプラットフォームを無償で提供しています。

情報管理プラットフォーム

運動部学生総合支援サービス

My UNIVAS

団体運営管理支援サービス

Our UNIVAS

2020.7.27 始動

supported by 



登録学生は
さまざまな
オンライン
サービス
を利用可能

登録学生を
安全に
効率的に
組織管理が
可能

運動部学生総合支援サービス

My UNIVAS

- UNIVAS IDを取得。
- 設置された運動部に紐づけて、個人プロフィールを登録。
- 運動部任意項目の設定も可能。



団体運営管理支援サービス

Our UNIVAS

- 運動部単位で組織登録。
- 大学、中央競技団体・地方競技団体の組織を編成。
- 名簿管理や通知機能を活用。



UNIVASの提供サービス：4年間の進捗

- コロナ禍の厳しい環境の下においても大学スポーツの振興に向けた事業を着実に推進してきました。今後に向けて更に大学スポーツ振興の意識醸成と課題解決を進めていきます。

スポーツによる 人材育成

スポーツの持つ多様な価値とスポーツを通じた人材育成の意識と活動の普及定着化に向けて、多彩な対象者に向けて各種研修会・セミナーを開催しダイレクトコミュニケーションを行うとともに優秀人材・団体の表彰を行ってきました。[セミナー開催219回・参加者12,080人／表彰件数502件]

安全安心な 環境の整備

事故怪我の予防やハラスメントの防止に向けた組織運営体制整備を推進、安全安心共通ガイドラインの策定を通じ、実施体制の認証評価制度を構築し、学生が安心して競技に取り組める環境形成を進めてきました。[UNIVAS SSC安全安心認証取得：11団体]

大学スポーツ 認知の拡大

インカレを中心として試合動画のインターネット配信を開始し「みるスポーツ」としての認識確立を進めるとともに、大学スポーツファンの開拓と育成を進めてきました。
[試合動画のべ視聴数 635万回・UNIVAS Plusユーザー 12万人]

ガバナンス 体制の整備

学校法人組織外であり且つ課外活動である運動部活動に対して大学がガバナンスを発揮し、発展させていく為に大学のスポーツを統括する専門部局設置や人材の配置、大学スポーツ統括業務の在り方についての理解浸透を促進してきました。[スポーツ統括専門部局設置数：55大学]

プラットフォーム の提供

大学や運動部における部員管理のセキュリティ向上と運動部学生に対するオンラインサービスの提供を目的に、サービス利用者を拡大してきました。
[大学管理者組織登録：160大学]・[My UNIVAS運動部学生登録：2万人]

コロナ禍をのりこえて

新型コロナウイルスの蔓延により、社会のさまざまな活動が制約を受け、大学にとってもスポーツ界においても不自由と困難に見舞われた。

しかし、UNIVASは、創立時に想定できなかった事業にも取組み、人類の持続的発展を支える大学での学びを止めない、スポーツの営みを止めないとの強い意志と希望を支え続けた。感染症対策を組み込んだ安全安心な競技環境の構築や活動再開に向けた取組の指針を策定して、多くの大学や競技団体に活用して戴いている。

UNIVASの挑戦は続く！

大学スポーツの新たな価値創造に向けて

UNIVASは、大学スポーツ振興に向けて歩みをいっそう進めている。

- ①「人材育成に向けた支援策の推進」
- ②「安全安心なスポーツ環境の整備」
- ③「大学スポーツ認知の拡大」
- ④大学のブランド強化にも寄与する「大学スポーツによる地域振興」

設立4年目においては、これらの内容を充実させ、実現の度合いを高めている。

その際、UNIVASは、大学スポーツが持っている価値を大学間で連携することにとどまらず、地域・社会への循環をつくり、Society5.0のAI・データサイエンス利活用の時代を見据えて、大学スポーツを通じた情報共有と社会構築のプラットフォームとして活動を進めている。

ご静聴、有り難うございました。

**皆様のご活躍・ご成長を期待し、
中央大学の益々の発展を祈ります。**

